

平成22年度 特別推進研究 審査結果の所見

研究課題名	MEG実験—レプトンフレーバーの破れから大統一理論へ
研究代表者	森 俊則
審査の所見	<p>本研究は、$\mu \rightarrow e\gamma$崩壊過程というレプトンフレーバーの破れを世界最高感度で探索するものである。もし、当該崩壊反応が観測されれば、素粒子の標準模型を超えて超対称大統一理論への足掛かりを与えることになる野心的な研究であり、世界的にも注目されている。この国際共同研究を日本グループが主導していくという意味でも、特別推進研究として推進する意義は大きく、採択すべき課題であると判断した。LHC と競い合って、早い時期に結果を出すことが大いに期待される。</p>